令和 6 年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成団体	埼玉県さいたま市
事業細目名	国際競技大会開催
事業名	2024 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム
助成金額	200,000,000

令和 6 年度国際競技大会助成（国際競技大会開催）で埼玉県さいたま市が開催している「2024 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」の実施状況について調査を行いました。

本大会は、国際的なスポーツイベントである「ツール・ド・フランス」の名を冠した自転車ロードレースの日本開催であり、第 10 回記念の大会が開催されました。

■助成の意義

開催地、さいたま市は「スポーツのまち さいたま」を掲げ、自転車を活用したまちづくりに取り組んでおり、そのシンボルとして本大会を位置づけています。スポーツ振興くじ助成金を受けられたことで、これまで積極的に取り組んできた地元の児童・生徒や地域の商業との大会盛上げイベント等のさらなる拡充の他、本大会とさいたま市の魅力の発信強化のための放送・メディア展開の強化をすることができたそうです。また、第 10 回の記念すべき大会であったため、これまでは活用しなかったさいたまスーパーアリーナのメインアリーナを使用し、観客増員のための座席数の確保やメインアリーナを活用したコースを実現できたとのことです。

■事業効果を高めるための取り組み

本大会のホームページ及び公式 SNS(X、Facebook、Instagram、YouTube)を開設し、周知を図り、大会を中継する J：COM、J SPORTS を中心に、事前告知などメディアを通じて情報発信を定期的に行ったそうです。

また、例年と同様、同日に子ども向けの自転車レースを開催することで、自転車競技に興味を持つ子ども達が世界大会に触れ、競技を続けるきっかけとなるよう取り組まれています。

■その他

通算で 10 回目となる本大会を通して、さいたま市の自転車利用者数や保有台数が増え、自転車専用レーンの距離が延びる等、自転車に親しんでもらえていると効果を感じている一方で、自転車は交通手段の一つという考えが強く、競技であるという認知度が低いことも実感しているそうです。今後は、交通手段と競技という差別化をどう行っていくかという課題があるとのことでした。

■所感

調査当日は、レース中に段々と雨脚が強まり気温が低い状況の中で開催されたにもかかわらず、

沿道やメインアリーナにも観客が集まり、選手の熱く繰り広げられるレースにより活気にあふれた大会となりました。今後もこの大会を通じてさいたま市の魅力が発信されると同時に、自転車が交通手段の一つではなく、競技としてより多くの方の目に届き、大会と共に発展していくことを期待いたします。

（令和 6 年 11 月 2 日往査）

（写真）2024 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムの様子	
	